

洗練された住宅空間に美しく調和し映える「レミュー」 フジテレビ系ドラマ「愛の、がっこう。」のセットに採用

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：小森大）のホーローシステムキッチン「レミュー」が現在放送中のフジテレビ系ドラマ「愛の、がっこう。」のセットとして採用されました。



（小川家のホーローシステムキッチン「レミュー」）

フジテレビ系ドラマ「愛の、がっこう。」はまっすぐすぎる高校教師と夜の世界で No. 1 を目指すホストという、すれ違うことすらないはずの男女が織り成す、禁断なのに純愛な“愛”の物語です。今回、主人公・小川愛実が暮らす自宅のセットとして、ホーローシステムキッチン「レミュー」が採用されました。

この度採用されたホーローシステムキッチンのフラッグシップモデル「レミュー」は、素材・デザインの美しさと機能性へのこだわりが上質な空間と豊かな暮らしへと誘う特別なキッチンです。高級感のある扉カラーをはじめ、引き手のデザインやモールカラーを組み合わせることができ、ワークトップには高級人造石も選択できます。

今回、ドラマの舞台となるこの邸宅は、落ち着いた街並みに佇む、洗練された住宅です。その空間に調和し、画面上でも美しく映えるキッチンとして「レミュー」が選ばれました。レミューならではのデザインと質感が、住まいの世界観に深みを与えています。毎週木曜日夜 10 時からの放送で劇中に登場していますので、ぜひご覧ください。

タカラスタンダードは、独自の技術を生かした商品ラインアップで、これからもより多くの人により心地よい暮らしを楽しんでいただけるよう商品を展開してまいります。

【ご参考】ホーローシステムキッチン「レミュー」 https://www.takara-standard.co.jp/product/system_kitchen/lemure/

<タカラスタンダードとは>

1912年創業。「水まわりって、大切だから」をブランドメッセージに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客様のニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

【設立：1912年5月30日（創業113年） / 売上高<連結>：2,433億円（2024年度） / 従業員数<連結>：6,560名（2025年3月末時点）】